

令和5年度 新潟市区自治協議会  
全体委員研修会の記録

新潟市市民生活部  
市民協働課

# 目 次

- 1 開催概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 各分科会における意見交換ワークシートの記載内容・・・・・・・・・・ 2
- 3 研修後アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

# 1 開催概要

## 【目的】

住民自治の進化に向けて、これからの自治協に求められる役割や活動の方向性について考えていただくとともに、情報交換により得た気づきを各区へ持ち帰り、今後の活動に活かしていただくために実施

## 【概要】

### ○開催日時・会場

- ・日時：令和5年9月5日（火） 13:30 ~ 16:00
- ・会場：黒崎市民会館（新潟市西区鳥原909番地1）

### ○プログラム

#### 1 講演

- ・講師：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 丸田 秋男 様
- ・演題：「区自治協の振り返りとこれから～住民自治の進化と未来～」

#### 2 分科会(事例発表及び意見交換)

テーマ	発表事例（第8期自治協提案事業）	発表者
第1分科会 （防災）	北 区「めざせ防災力向上！」 南 区「南区防災啓発事業」	佐久間 沙都美 様 井上 吉一 様
第2分科会 （福祉）	中央区「未来への種まきプロジェクト」 西 区「支え合いの大切さ普及事業」 西蒲区「あたたかな人の和でつながる輪」	佐藤 雅之 様 山岸 則子 様 吉田 金豊 様
第3分科会 （まちづくり）	東 区「自治会・町内会の担い手不足解消」 江南区「江南区魅力発掘・発信プロジェクト」 秋葉区「きらめきサポートプロジェクト」	佐藤 清 様 田村 敏郎 様 中島 純 様

#### 3 全体共有

- ・各分科会で挙げた意見の概要を全体で共有



○参加者

1 当日参加者 133名（うち、新任委員57名）

（区別内訳）

（人）

北 区	東 区	中央区	江南区	秋葉区	南 区	西 区	西蒲区	合 計
14 (30)	20(32)	19(32)	16(30)	16(29)	13(30)	17(36)	18(30)	133(249)

※（ ）内は R5. 7. 1 時点の各区自治協議会委員数

2 分科会参加者：132名

（区別内訳）

（人）

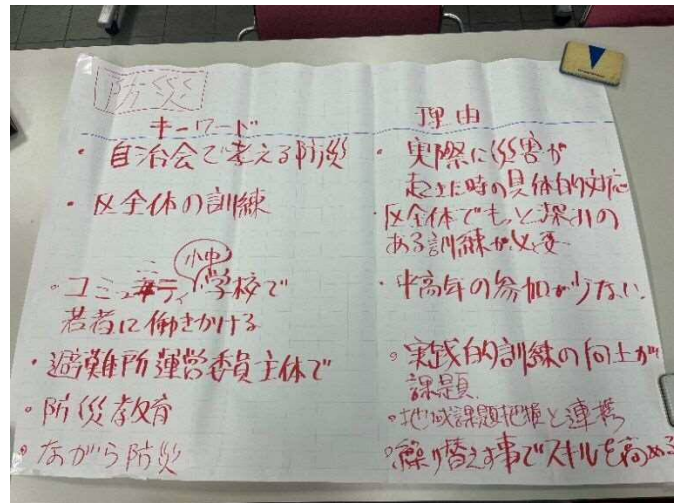
分科会	区								合計
	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	
防災	5	7	7	5	6	6	8	5	49
福祉	4	5	1	3	2	3	4	7	29
まちづくり	5	7	11	8	8	4	5	6	54
合計	14	19	19	16	16	13	17	18	132

## 2 各分科会における意見交換ワークシートの記載内容

各分科会における意見交換ワークシートの主な記載内容を掲載します。

※記載内容は、当課の方で、類似意見の集約、要約をしています

### 【第1分科会（防災）】



今後、自治協が取り組む方向性や大切にしていこう考え方について教えてください  
 防災分野における取組の方向性、大切にしていこうキーワードとその理由

キーワード	選定理由
自治会で考える防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時の具体的対応を住民の最小単位である自治会で検討する必要があると考える</li> <li>● 自治会ごとに災害時の避難方法等の条件が異なってくる</li> <li>● 区民の防災意識向上のために、自治協が個別具体的な防災訓練を各コミ協や自治会に働きかける</li> </ul>
学校・PTA との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若い世代から参画してもらうには必要不可欠。PTA という組織を活かし、親子で参加してもらうことによって防災意識が高まる</li> <li>● 学校は誰もが知っている場所で避難所になっているから、どこに何があるのか知ってもらうためにも、学校拠点の防災イベントを開催する</li> </ul>

キーワード	選定理由
小中学生、若者への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元の小学校を基盤に分からない目線の人達を引き込んで防災意識のきっかけづくりをする</li> <li>● 子どもが参加する企画には必ず親が付いてくる。分かりやすく楽しい企画を盛り込むことで防災力をUPできる</li> <li>● 子どもの頃から防災の意識を持ってこそ他者への思いやりが培われ、区全体の防災意識も向上する</li> <li>● 押し付けない防災。いざという時に助け合える関係性を作る</li> </ul>
楽しく学ぶ防災教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジャッキアップゲームやグッズ作りなど子ども達を遊ばせながら防災意識を植える</li> <li>● 自治協としての啓発活動としては、多くの人たちに興味を持ってもらえることが一番大切であり、楽しみながら学べる防災訓練に参加できるきっかけをつくる</li> <li>● 誰もが気軽に参加できる形式のイベントにできるとよい</li> <li>● 「防災訓練」というくりではなく、何らかのイベントに防災スキルを取り入れていく「ながら防災」を繰り返すことでスキルを高める</li> </ul>
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難所運営委員会の各班による実践的訓練の向上が今後の課題であると思われる</li> <li>● 区全体でもっと深みのある訓練が必要</li> <li>● 地域全体で防災に関心を持つには多世代の参加が必要</li> </ul>
区民で作る防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政が作成したマップは正確だが、身近に感じにくい。自治協委員が作ることで住民の意見を反映できる</li> <li>● ハザードマップだけでなく、より具体的に地域図に落とし込んでいくことで身近に感じる</li> <li>● 避難訓練や防災に関するイベントにおいて、確認と共通理解を促進できる</li> </ul>

### 北区発表事例「めざせ防災力向上！」

令和4年度北区自治協議会提案事業  
「目指せ防災力向上！」活動報告書

「目指せ防災力向上！」のねらい  
災害への備えは誰にとっても大事なこと！  
大人から子どもまで、みんなに向けて防災啓発したい！

今年度は、地域の団体と協力して、子育て世代を中心に、体験型の楽しみながら学べる防災訓練を実施しました。子どもが動く、大人も動く！実施するなかで「あそんでまなぼうさい」は、防災訓練の成功のヒントになるのではと感じました。みなさんの地域でもいかがですか？

目次

1. 「みんなであそんでまなぼうさい」活動報告
  - ① 地域づくり部会×濁川地区コミュニティ協議会
  - ② 地域づくり部会×木崎小学校 PTA 体育部
2. 参加者・中学生ボランティアの声
3. 「キテ・ミテ・キタ区役所」への出展

発行：新潟市北区自治協議会 地域づくり部会 制作：NPO 法人ふるさと未来創造堂

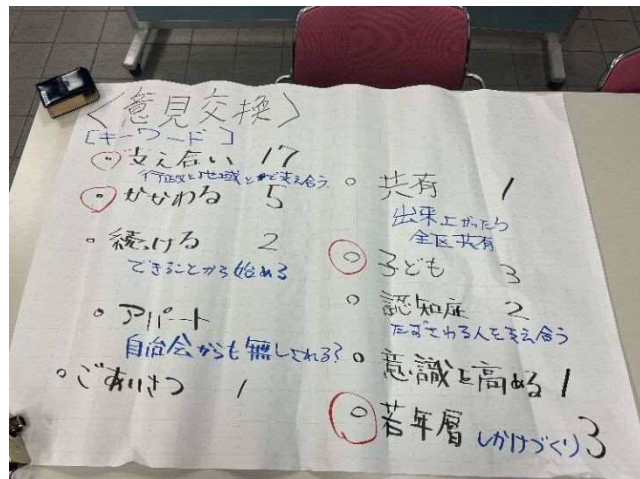
### 南区発表事例「南区防災啓発事業」

新潟市南区自主防災マップ

天候・災害情報の収集  
1. 防災情報センター  
2. 防災情報センター  
3. 防災情報センター  
4. 防災情報センター  
5. 防災情報センター

1. 防災情報センター  
2. 防災情報センター  
3. 防災情報センター  
4. 防災情報センター  
5. 防災情報センター

## 【第2分科会（福祉）】



今後、自治協が取り組む方向性や大切にしていける考え方について教えてください  
福祉分野における取組の方向性、大切にしていけるキーワードとその理由

キーワード	選定理由
支え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴミ出し、雪かきなど、日常の細部まで行政の手が総じて及ぶことは難しいと思う。その際、支え合いは重要なキーワードとなるため、昨今の人間関係の希薄化という困難を乗り越えていけるかが課題</li> <li>● 同世代だけのつながりではなく、異世代の交流、異世代だからできる支え合いを実現していくことが大切</li> <li>● 支え合いの必要性を感じている人は多くいると思うが、地域ぐるみで取り組んでいるところは足りない状況であるため、支え合いをキーワードに地域ぐるみで継続できる仕組みが必要</li> <li>● 支え合いなくして福祉はできない</li> </ul>
関わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人と人との関わりは全ての基本であると考え。特に福祉では「関わり」、さらに発展した「支え合い」が大切。年齢に関係なく地域全体でできることを考えていくことが福祉の推進に繋がる</li> <li>● まずは地域の中でお互いを知ることが大切。そのために、あいさつ等、小さな関わりから一歩踏み出せるとよい</li> <li>● 他団体や包括支援センター等の公共的団体との協働によって、より良い支援体制ができるのではないか</li> </ul>
アパート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会からも民生委員からもアパートが無視されることが多い。アパートごとに多様な人がいるので何とか関係を作っていきたい</li> </ul>
意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉については、各区の発表とも意識を高めるために行っていると思う。徘徊、あいさつ、認知症など少しでも多くの方から意識を高めることが大切</li> </ul>
若年層	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢社会を支えていくために、支える立場となる次世代にどのように継承していくか</li> <li>● 既に地方自治に関心がある高齢者だけでなく、子ども・若年層・子育て世代などを巻き込む仕掛けづくりが大事</li> <li>● 少子化対策として、子育てにスポットを当てた「支える側」への事業を活発にしていけることも求められている</li> </ul>

キーワード	選定理由
続ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1期2年で完結するわけではなく、スモールステップを踏みながら支え合い活動を展開・実践していくことが大切</li> <li>● 簡単にできることから始め、定着させることが大切（最初からゴールを目指すと疲れる）</li> <li>● 「あいさつ」という入口から顔見知りとなる。そこから高齢者や子どもなど社会弱者といわれる立場の人と関わり、信頼関係の構築につながる</li> <li>● 評価できる対象者に実益のある事業や簡単なこと、できることから始めて継続的に発展させて取り組んでいく事業を考えることが重要</li> </ul>
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化に伴い、家族の対応や通院・買い物などの移動支援が大切</li> <li>● この先避けられない問題である。支える側へのサポートが必要</li> </ul>

中央区発表事例

「未来への種まきプロジェクト」



西区発表事例

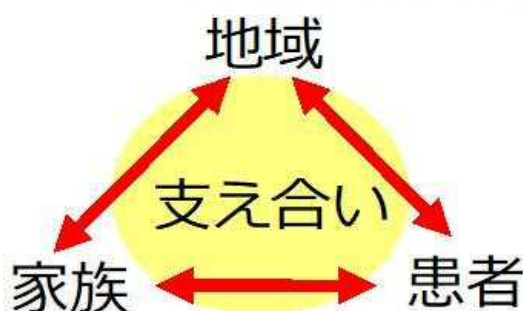
「支え合いの大切さ普及事業」



西蒲区発表事例

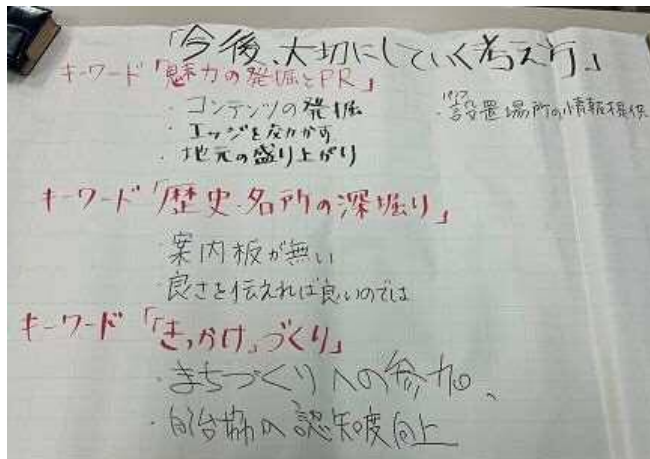
「あたたかな人の和でつながる輪」

▶ これらを念頭においた、  
「支え合いの仕組みづくり」が重要！



第9期西蒲区自治協議会では、  
第8期の取り組みをもとに、  
**みんなで支え合い**ができる  
まちづくりを目指します

## 【第3分科会（まちづくり）】



今後、自治協が取り組む方向性や大切にしていきたい考え方について教えてください  
まちづくり分野における取組の方向性、大切にしていきたいキーワードとその理由

キーワード	選定理由
魅力発掘・地域を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史・名所を掘り起こすなど、コンテンツを発掘する。その意識が地元への誇りにつながる</li> <li>● まちづくりは、自らの地域の良い所、悪い所を知ることから始まる。地域の価値・魅力を自ら又は外から意見をもらい認識することが重要</li> <li>● まち歩きを通じて広く知ってもらおう。人が動くことでまちの活性化にもつながる</li> </ul>
協働・つながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治協は地域内の多様な団体、人材で構成されているので、それぞれの強みを活かすことで課題の深堀りから解決に向けた取組まで良い形で実行できる可能性がある。そのためには、「お互いを知り合う」「関係を作る」ことが大切。そこから「ともに考え、動く」ことができる</li> <li>● まちづくりの「やりたい」を実現するために、専門的技術・人材を活かす「スキル・ミックス」により広く実効性のある取組ができる</li> <li>● まちづくりは結果でなく、プロセスが大切。同じ目的に向かって協働することでつながりが生まれる</li> <li>● 自治協が課題解決に乗り出すだけでなく、より多くの人々に自分事として捉えてもらい、参画してもらおうことが大切</li> <li>● 自治協だけではなく、区民が課題を見つけ、一緒に解決すべく参加できる仕組みづくりが大事</li> <li>● 自治会・コミ協・自治協の関係性の希薄化により、住民の声が届きにくい状況を打破することが必要</li> </ul>
人材発掘	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プレイヤーがいなければ市民の無関心をなくすることは難しい</li> <li>● 人材ネットワークを広げて強固にすることが大事</li> </ul>
若者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域行政に関わり自身の成長につながる取組は、学生にとっても魅力的であるため、大学等に声をかけてみたらどうか</li> <li>● 小中学生が自分の地域を学び、愛着を持ち大人になることが大切</li> </ul>
わくわく感・楽しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民を巻き込み地域の活性化を図るには、「楽しそう」という感覚で興味を引く必要があり、義務感や強制感があるものは良くない</li> </ul>
きっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民がまちづくりに参画するきっかけを自治協が提案できると良い</li> </ul>



キーワード	選定理由
交流・対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりの課題や良い取組など、自治協内でもっと情報交換・意見交換を行うことで新たなつながりや解決策を生み出すことができるし、ワガゴト化にもつながる</li> <li>● 住民同士の交流の場をつくり、専門家や企業など多くの分野から入ってもらうことが大事</li> <li>● まちづくりに取り組むことにより、住民の交流、特に世代間交流が大切になってくるため、自治協はそのアシストを積極的に行うべき</li> </ul>
地域課題の収集と共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で発生している課題等をいかに自治会やコミ協から吸い上げることができるか。そして地域と情報を共有して問題提起と解決方法を検討することが大切</li> </ul>



東区発表事例  
「自治会・町内会の担い手不足解消」

江南区発表事例  
「江南区魅力発掘・発信プロジェクト」



## きらめきサポートプロジェクト

きらめきサポートプロジェクトとは、「きらめく秋葉区」に向けたまちづくりのために、地域コミュニティの活性化や福祉、防災、文化振興など、様々な地域課題の解決につながる取組を下記の2部門で募集し、地域住民と自治協が協働で取り組む事業です

A部門：市民力、地域力を生かし、地域課題の解決につながる事業

B部門：秋葉区産のもち麦のPRや販売促進に資する事業

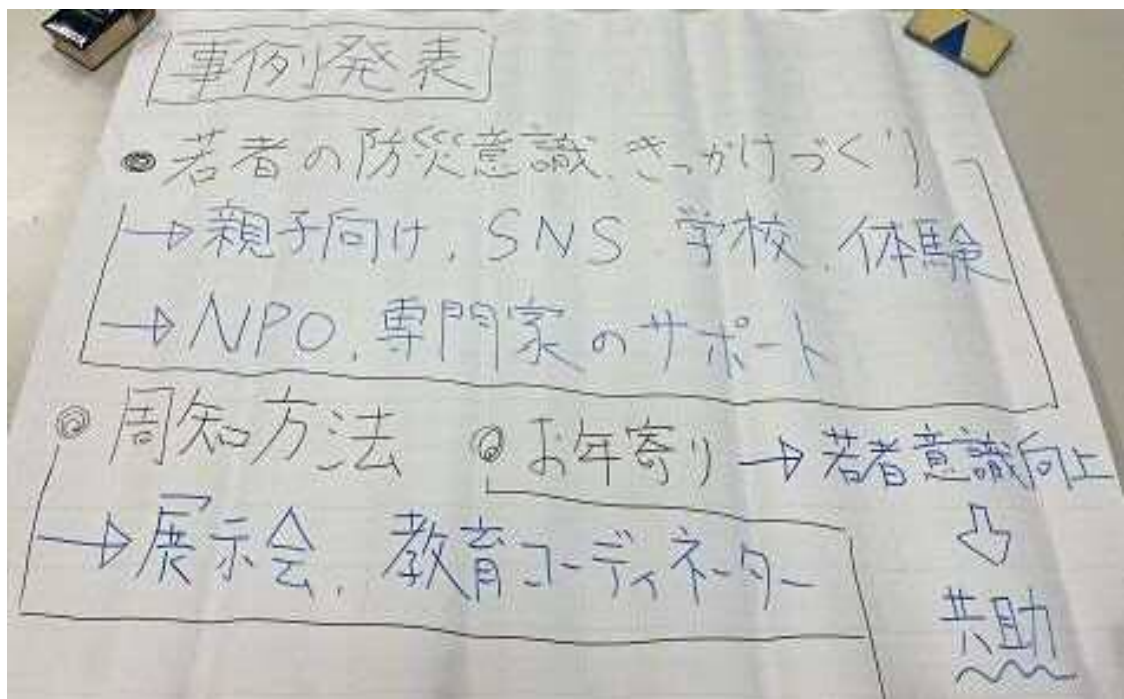


秋葉区発表事例  
「きらめきサポートプロジェクト」

## 【各区事例発表に対する感想】

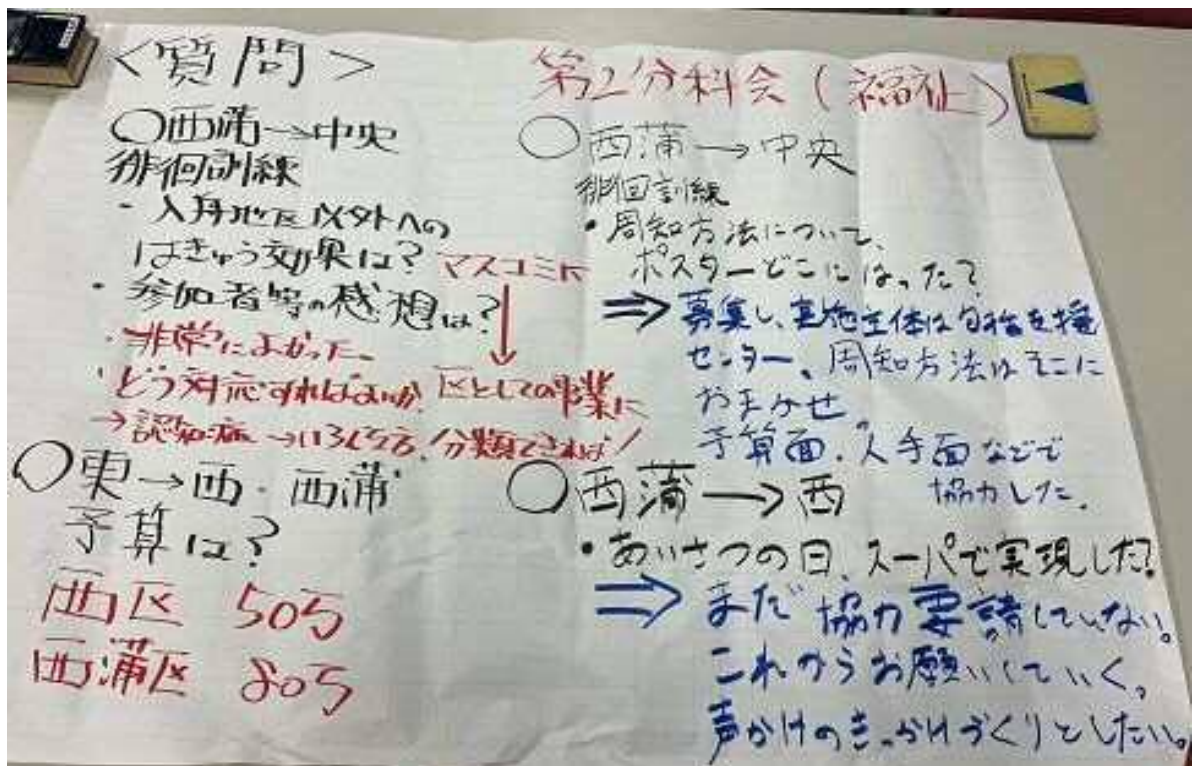
- 南区の自主防災マップ、大切な情報が1枚にまとまっていて良かった
- 防災は区のコミ協・自治会どこが実施主体だとよいかについて、現状自治会長の半数が1年で交代となり、コミ協で実施すればよいかと思った
- 防災においては、日頃の教育活動の積み重ねが大切だと思った
- 自治協が主体となる防災訓練の取組は初めてで素晴らしい。各自治会・町内会の防災訓練は行き詰っている。中学生の参加は重要
- 北区のNPOやPTAを活用した防災への取組は素晴らしい
- 学校単位とイベントをセットにしたやり方は参加しやすいという意味で良い方向性と思った
- 両区ともに防災意識が高く、素晴らしい取組になっていることを感心しました。若者へのアプローチが大切だと認識した

防  
災

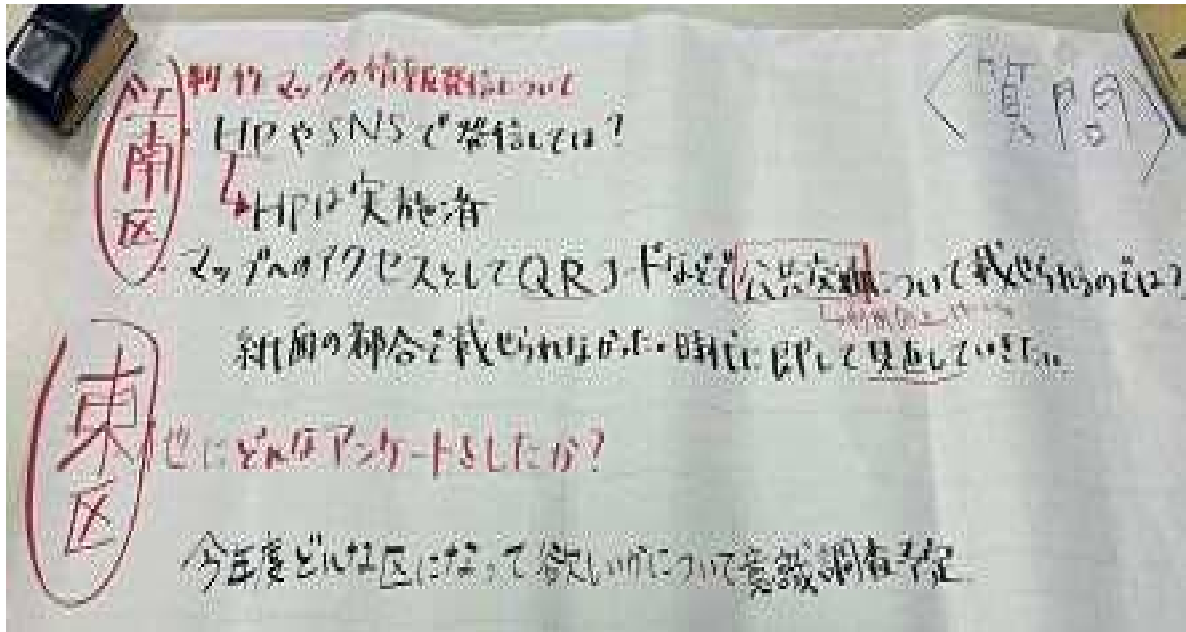


- 認知症についてどういう声かけや行動が有効なのかをたくさんの方が考えることが大切だと思う。実際の取組マニュアルにまとめられたのは素晴らしいと思う
- 若い世代から年配の方まで満遍なく参加できる機会になればと思う
- 西区のあいさつ運動は交流の基礎となるすごく重要なことと思った。西蒲区の事例からも、認知症を医学的に学ぶということはすごく重要だと思った
- 公募の良さ（中央区）、講演会からの学びの良さ（西蒲区）を感じた。学びを広げる手法として参考になった
- 何かイベントやきっかけがあると行動しやすくなるので、その1歩として「あいさつ」というのはとても良いと思った
- 中央区のような提案型協働事業はニーズの掘り起こしもできて面白い
- 地域の中で必要、関心の高いことなどに着目してそれぞれ企画されていると感じた。地域の方、団体からの意見をもとに企画していくことに意味があると思った

福祉



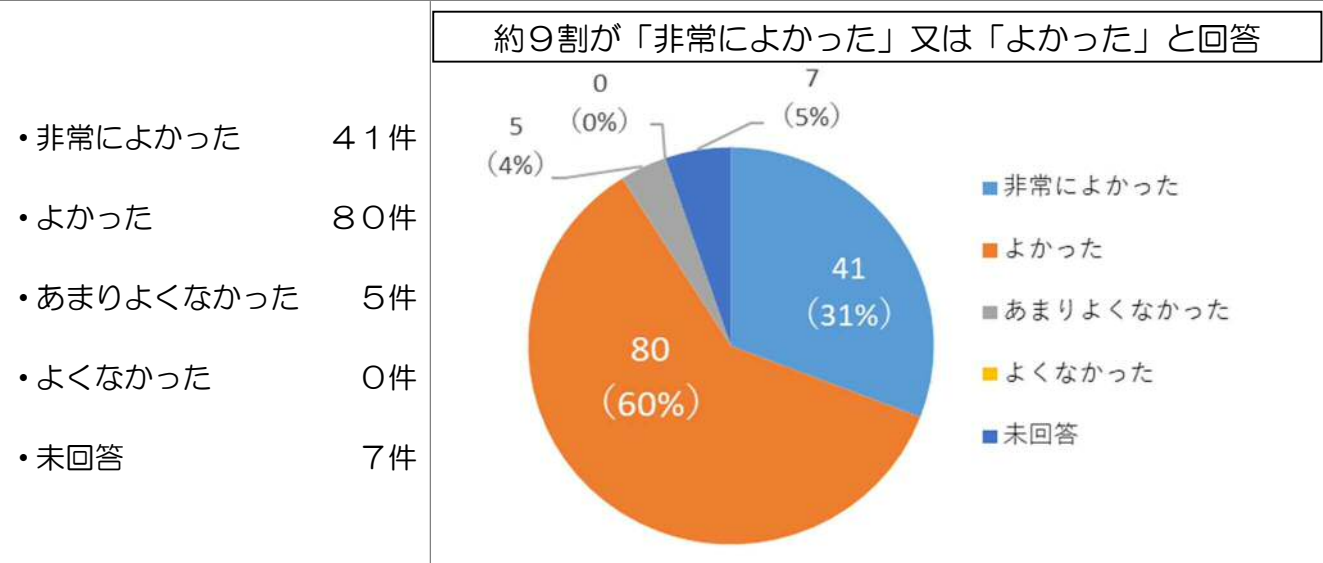
- 東区の発表より、自治協と自治会との直接の関わりについて今後の方向性として大変参考になった
- 江南区のマップは立派なもので、魅力を発掘する意識が出てきた結果と感じた
- 回覧板の取組は素敵だと思った。自治会役員募集だけでなく地域参加の機会など自治会役員になろうと思うきっかけも記載すると良いと思った
- 秋葉区の発表にあった「市民活動を育てる(まちづくりプレイヤーの育成)」という言葉が印象に残った
- 東区の回覧板について、自治会の役割や活動内容を周知するツールとしては有効だと思う
- 江南区のマップ作りを活用したまち歩きは参考になった。行ってみたい
- 各区の発表全てが市民参画・協働のプロセスと人材活用を見事に実現していることが大変参考になった。
- 各区の独自色を活かしたこれらの活動は、区民の地元愛醸成に寄与してくると思う
- 「協働」と「対話」を念頭に事業を進めていくことで、地域活性化につながり、自治協の存在を周知してもらえると感じた



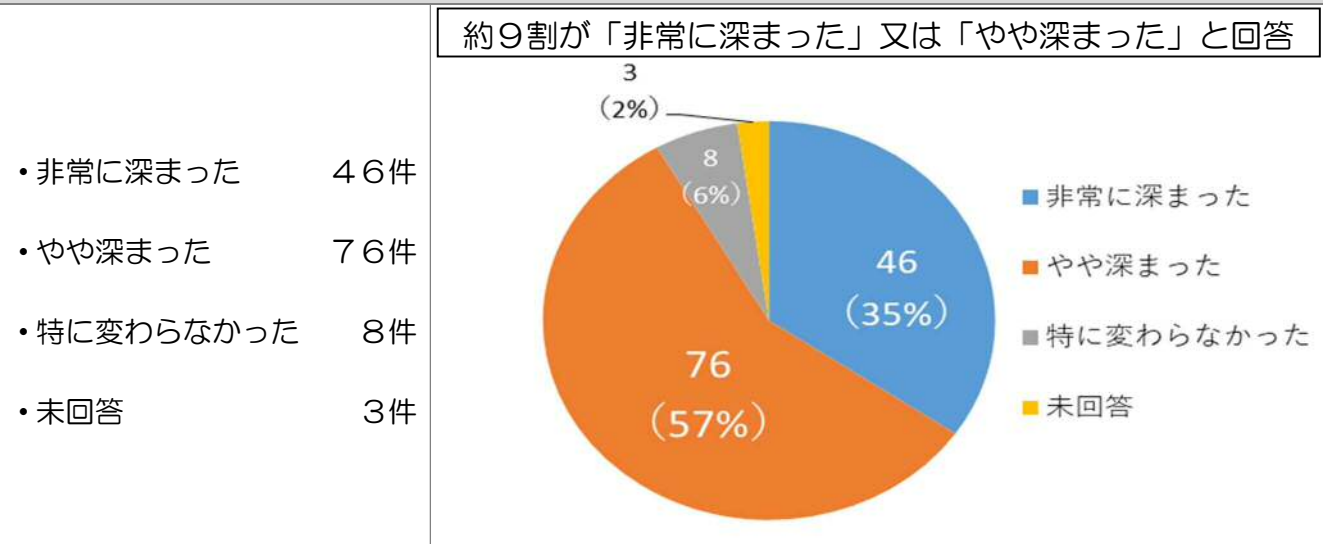
### 3 研修後アンケート結果

回収率：100%（回答者数 133 名）

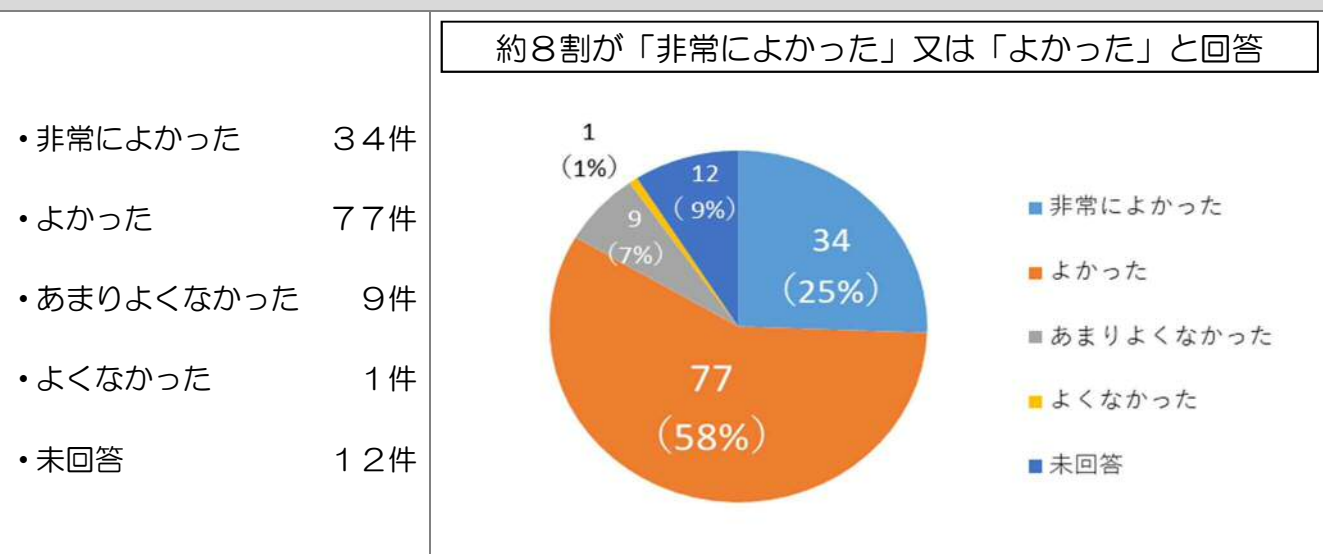
本日の研修会の内容はいかがでしたか？



研修参加前と比べ、これからの自治協の役割に対する理解は深まりましたか？



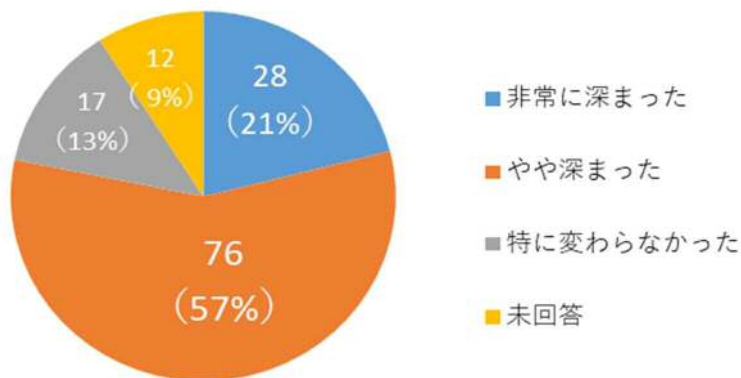
分科会の内容はいかがでしたか？



参加した分科会テーマについて、今後の活動の方向性のイメージは深まりましたか？

約7割が「非常に深まった」又は「やや深まった」と回答

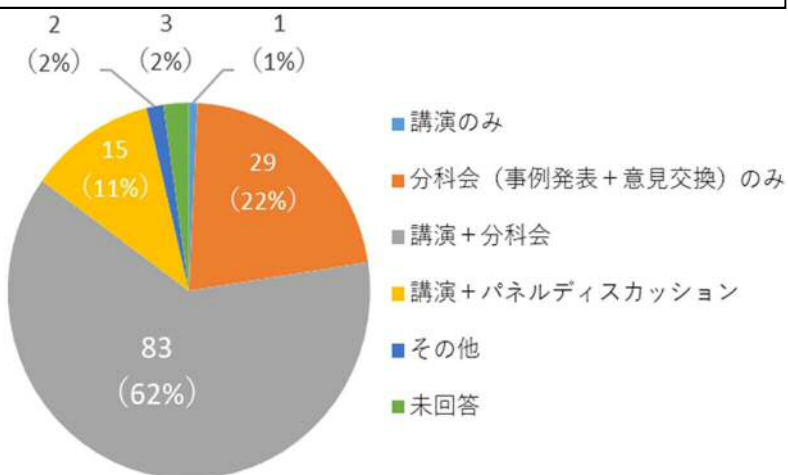
- ・非常に深まった 28件
- ・やや深まった 76件
- ・特に変わらなかった 17件
- ・未回答 12件



次回の研修会はどのような形式が望ましいですか？

約6割が「講演会+分科会」と回答

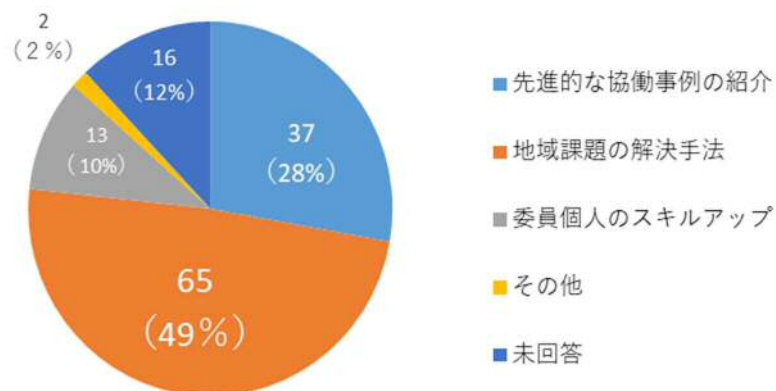
- ・講演のみ 1件
- ・分科会のみ 29件  
※分科会は事例発表+意見交換を想定
- ・講演+分科会 83件
- ・講演+パネルディスカッション 15件
- ・その他 2件
- ・未回答 3件



次回の研修会で「講演」を実施する場合、取り扱ってほしいテーマ内容を1つで囲んでください

約5割が「地域課題の解決手法」と回答

- ・先進的な協働事例の紹介 37件
- ・地域課題の解決手法 65件
- ・委員個人のスキルアップ 13件
- ・その他 2件
- ・未回答 16件



次回の研修会で「分科会」を実施する場合、取り扱ってほしい  
テーマ・内容を3つ〇で囲んでください

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	区名 未記入	合計
防犯	1	1	1	1	1	0	1	0	0	6
防災	7	4	6	7	7	6	4	5	0	46
交通 安全	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4
高齢者 支援	3	8	3	2	2	4	6	4	0	32
子育て 教育	6	5	5	2	4	2	8	5	2	39
環境	0	2	2	1	2	2	4	3	0	16
商工 産業	1	2	1	2	2	2	1	0	0	11
地域 交通	4	5	6	3	5	3	2	8	2	38
まち づくり	4	5	8	7	7	5	7	6	2	51
空き家	2	5	2	2	4	4	2	6	2	29
文化 活動	0	2	2	0	2	1	6	1	1	15
スポーツ 活動	1	1	1	2	1	1	2	2	0	11
広報	5	3	1	2	1	0	0	2	0	14
移住 促進	1	4	1	1	1	3	1	2	0	14
その他	1	1	1	3	1	0	1	1	0	9
未回答	6	10	15	13	5	6	3	6	0	64

【その他の内容】

- ・若年層向けの取組
- ・部活動・課外活動の地域移行

【主な意見】

- 地域でいろいろな活動がされていることが分かり学びになりました。これからは自治協委員としての自覚を持ち頑張っていこうと思いました
- 調査の数値化や自治協の変遷、課題について明確化されていて分かりやすく取り組む意欲を持つことができた
- 本日の講演は新任研修でしっかりと扱っていただきたい内容でした
- 分科会の時間が足りない
- 事例発表より委員の討議時間により多くの時間を願いたい
- 分科会の内容、事例発表はとても良かったが、ほとんど委員に発言機会がなかった。グループワークなどを入れる工夫があると嬉しいです
- 分科会のみの特化した方が良い
- 分科会はもっと少人数での意見交換が望ましい
- 分科会でキーワードという項目があったが、そのキーワードを今後どのように使うのかが分からなかった
- 意見のまとめ方、会議での議論の仕方などのスキルアップ研修を希望